ふるさと未来づくり講演会

少子高齢化、過疎化・・・久慈市は今、さまざまな問題に直面しています。
10 年後、20 年後、私たちが「これからも住み続けたい」と思えるまち、
子どもたちが「久慈市に戻りたい！」と思えるまちづくりについて一緒に考えましょう！

平成28年

9月3日(土)

13:30開演(13:00開場)

アンバーホール　小ホール

入場無料【 要事前申込 定員 300 名 】

～　プログラム　～
講　演　①　広田純一
講　演　②　アンダーエイジ
事例発表　清水美花(集落支援員)

広田　純一
東京都出身。東京大学農学部卒業、博士課程修了。1985 年より岩手大学で教鞭を執る。1990 年代後半より学生とともに、県内外の地域づくり活動支援に携わり、住民が自分たちの地域の魅力と課題を見つめ直し、地域の資源を活用した地域づくりにつなげていくための活動支援を行う。東日本大震災後は、地域コミュニティの再建支援を中心に、国・岩手県・被災市町村の復興構想・復興計画の策定に関わる。

講演①
人口減少待ったなし！
～だから地域づくり～

講師　広田　純一　氏(岩手大学農学部教授)

岩手に住んで6年、岩手県住みます芸人アンダーエイジが特別講師！

講演②笑いで地方活性化！
お笑いライフハック講座

講師　アンダーエイジ(お笑い芸人)

アンダーエイジ（よしもとクリエイティブエージェンシー所属）
熊谷由輔（左、花巻市出身）、結城多聞（右、山形県出身）。
高校卒業後、共に上京。大学から養成所を経て５年間東京で芸人としての生活を送る。その後、岩手県住みます芸人として岩手に住むようになって６年目。テレビ・ラジオの取材等で岩手県内津々浦々を訪問し様々なものを見聞きした経験と、東京と岩手の両方での暮らしの経験から、岩手のいいところ、改善したほうがいいところ、これから住む人・住んでいる人にとって魅力ある街になっていくためには何が必要かを、お笑い芸人の視点からお伝えします。
【出演】テレビ岩手「５きげんテレビ」、エフエム岩手「ふじポン・アンダーエイジの花金ラジオ」「萌キュンメイドール学園」ほか
【講師】コミュニケーション能力の向上を目的とした漫才授業講師(中学２年生対象)、就職面接対策授業講師(専門学校対象)ほか

よしもと「住みます芸人」プロジェクト
47 都道府県すべてに芸人と社員を派遣＆定住！
47 組の「住みます芸人」が全国 47 都道府県に実際に住んで、地域を盛り上げていくプロジェクトです。芸人とエリア担当社員が、地域の人々と力を合わせて、地域をよりよくする様々な課題に取り組んでいます。よしもとは「笑い」による心のインフラづくりを目指し、新しい地域共生型のコミュニティを創造したいと考えています。

★アンダーエイジは岩手県の「住みます芸人」です★

お問合せ・お申込み／久慈市役所　地域づくり振興課
お名前、年齢、電話番号、所属団体等(あれば)を添えて下記宛先までお申込みください(8 月 26 日(金)締切)。
電話 0194−52−2116(直通・平日のみ)　FAX 0194-52-3653　メール k-turn@city.kuji.iwate.jp
市立公民館でも申込受付中！(中央・小久慈・長内・大川目・夏井・宇部・侍浜・山根・山形(おらほーる))